

那須塩原市DX推進戦略(案)に対するパブリックコメント(市民意見募集)の結果 について

1 実施状況

- (1)募集期間 令和6年11月15日(金)から12月6日(金)まで
 (2)意見提出者 9人
 (3)意見件数 18件
 (4)提出方法

提出方法	直接書面	郵送	電子メール	どこでも窓口	計
人数	—	1	6	2	9

2 提出された意見要旨とそれに対する市の考え方

番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
1	p3	1ヶ所の届出で全ての手続きが完了する仕組みを作って欲しい。	デジタル技術を活用した窓口・行政手続のあり方について検討する際の参考にさせていただきます。
2	p3	狭い道に、防犯カメラと通報ボタンを設置して欲しい。	地域社会におけるDXの推進を図るための御意見として防犯関係事務所管課に情報提供いたします。
3	p7	各種非営利団体でも会計処理のクラウド化に着手することで地域社会のDXの促進に資することができるため、手法の展開を提案する。	地域社会におけるDXの推進を図るための御意見として、非営利団体所管課にも情報提供いたします。
4	p5	全員に配慮するのは大切なことだが、全てを同時進行でDXに対応していくことは無理なので、優先順位をつけて進めてもらいたい。	御意見を参考に、施策検討の際には重要度や緊急度等を考慮し優先順位を意識して進めます。
5	なし	スポーツ施設利用の書式が3枚複写の紙である。アナログ的方法で管理していることについて疑問がないのか。	市民サービスの利便性向上及び業務効率化を図るための御意見として承ります。 スポーツ施設の管理に関わらず、行政全般のアナログ的方法からの脱却を目指し、全庁的に情報提供いたします。
6	全般	DX戦略を進めるための基盤整備と市民への啓蒙・教育とDB化 (1)インターネット環境の整備(市民・観光客・市内への起業者への支援) (2)自治会加入率低下による災害時安否確認の強化(各種調査データの統合) (3)市民に対してのDX教育/定時利用の促	DXの推進を図るための御意見として、関係所管課に情報提供いたします。

		進とDX利用についてのインセンティブ 付加	
7	p2	第1段落の前段が長いのではないか。第2・3段落に市のDXの進捗・結果などが分かる記載が必要ではないか。	第1段の簡素化、第2段落への追記をいたしました。
8	p3	基本方針3「地域社会におけるDXの促進」は「地域活動における」、「地域の産業活動における」、「地域の魅力発信」などを包含する表現が適切ではないか。	各基本方針の取組事例と効果を具体的に記載することで、基本方針に掲げる内容を補足いたします。
9	p8	デジタル化と近接・面着の最適化を加えてはどうか。紙とデジタルの併用、デジタル技術による対面コミュニケーションの補完などデジタルとデジタル以外をどう組み合わせればよいのかを考えるべきではないか。	デジタルとデジタル以外を組み合わせ、紙媒体や対面コミュニケーションの必要性・重要性を考慮し、最適な市民サービスの提供を心掛けてまいります。
10	p5	窓口に行くのが大変という【課題】設定に違和感がある。適切な課題設定は「窓口の価値を高めること」ではないか。窓口の価値が可視化され、価値が高まればよいのではないか。そのためには、バックオフィスのDX化や窓口スタッフが業務に精通していることが必要なのではないか。	課題の意図を分かりやすい表現に修正いたします。また、窓口サービス向上への御意見として承ります。
11	p7	小学校の児童に配付しているタブレットのキーボード配列がUSキーボードになっている。国内で標準的に使用されないものを選んだのはなぜか。変更することはできないのか？	DXの推進を図るための御意見として学校関係事務所管課に情報提供いたします。
12	その他	市役所ではOfficeソフトのファイルにおいていまだにdoc,xlsを使っているが目的や意味があるのか？事実上のサポートが終わっているものを使い続けるとリスクがあるのではないか。	庁内ではMicrosoftやWindowsの最新版を使用しています。サポートが終了するなどセキュリティリスクがあるファイル等については使用の中止や入替を庁内に向けて案内しています。
13	その他	紙の文書のpdf化やウェブフォーム化はDX化ではない。地域ポータルで情報発信された際にpdfを添付されると見る気持ちがなくなる。地域ポータルのカレンダー機能を使えば管理の手間が少なくなることも実践されていない。	DXを進めるに当たっては、デジタル化とDXの違いをきちんと理解しその浸透を図るとともに、より多くの方が、DXの恩恵を十分に実感できるよう、情報の共有やツール、サービスの提供に努めてまいります。

14	なし	・お年寄りの見守りについてデジタル技術を活用してはどうか。 ・DX推進戦略の見直しの内容が話し合われている会議等が不明。 ・DX推進戦略とアクションプランの関係、計画案が不明。 ・市民がデジタル化された市のサービスをどの程度利用しているのか確認する必要があるのではないか。 ・市からのお知らせを受信する媒体として各家庭にタブレット配布が必要ではないか。 ・デジタルデータの危険性(消失の容易性・侵入危険性)を加味したデータ保管や運用が必要ではないか。	DX推進戦略は、外部の有識者で構成するDX有識者懇談会や庁内のDX推進本部会議による検討を重ね、議会での議決後決定します。 また、基本方針の実現のため、高齢者の見守り支援などをはじめ、より具体的な取組をまとめたアクションプランも策定しています。 ホームページで公開していますので御確認ください。その他の御意見につきましても、DX推進に生かしてまいります。
15	p3	目指す姿の具体イメージがなく、基本方針1~3のつながりが見えにくい。	DX推進戦略の目指すべき姿を明記し、「那須塩原市総合計画」が掲げる「人がつながり新しい力が湧きあがるまち」の実現のためのDXの方針として基本方針1~3を掲げます。
16	p4	基本方針を支える行動指針とは何なのか。各職員のマインドチェンジが重要成功要因ということか？ 定めるべきはDXならではの内容である必要がある。DXとしての現場職員のみならず組織としての行動指針を策定すべきではないか。	DXをさらに進めていくためには、組織を担う職員一人ひとりの意識改革により、組織として取り組む体制の整備が必要であると考えております。 基本方針が本市DX推進の方向性を明確にし、行動指針で具体的な行動を促すことで機運醸成を図っていきたいと考えています。
17	p11	今回の見直しに際し、OODAループとして何が観察され、行動つまり見直しに繋がったのかが見えない。 また、PIIに関しても具体的指標がないため進捗が見えない。PDCAは何処へ？ 見直し案というのであればこれらを踏まえたものにすべきである。	R7からDXに関する各施策の進捗管理をより具体化し、弾力的に進めていくため、これまでのPDCAサイクルの考え方にOODAループの考え方を加えます。
18	なし	DXが難しいテーマであることは理解しています。小さな事であっても市民、職員が前進を実感できる発信をお願いします。	計画の推進に当たっては『情報の共有』が重要だと考えております。更なるDXの推進のため、市民の皆様への丁寧なお知らせや説明に努めてまいります。